



キク編

病害虫注意報 2022年5月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病・害虫注意！

ハウス内は高湿度状態になりやすく、白さび病が発生しやすくなります。モヤコン使用など、湿度を下げる工夫を行いましょう。ハウスまわりの雑草は病害虫に発生源となります。雑草が大きくなる前に除草剤等を散布しましょう。



症状

多発条件

- ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生。
- ▶ 多湿条件（湿度90%以上）。
- ▶ 梅雨時期と9～10月頃の（15～20℃）冷涼な時期。

対策

- ▶ 循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶ 排水を良好にする。
- ▶ 発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める。

今月のおすすめローテーション

⚠ 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があります。ご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	白さび病	予 inochioキクツチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
消灯時	アブラムシ類・アザミウマ類 ハダニ類・フタバアブラムシ	トクチオン乳剤	1,000倍	発生初期	5回
発蕾時	白さび病	予・治 ラリー乳剤	3,000倍	発病初期	5回
破蕾時	ハダニ類 アザミウマ類・アブラムシ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
	白さび病	inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	ミカンイロアザミウマ ミミキイロアザミウマ ハダニ類 等	コテツフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	ハダニ類	カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	—	1回

海藻サンバ

1,000倍：挿し穂浸漬処理、または葉面散布

- ▶ コリンによる
光合成促進と発根促進
- ▶ 海藻エキスによる**発根促進**
- ▶ 転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

葉焼け軽減に！

プロテックa

500～1,000倍
葉面散布

カルシウム、パラフィン配合
植物表皮を保護強化

